



## Index

ノロウィルス食中毒対策

施工員のとれたてブログより

季節のムシ暦 (36)

FCCブログ

環境コラム

株式会社FCC



〒251-0043

神奈川県藤沢市辻堂元町4-3-32

Tel 0466-31-3164

Fax 0466-31-3174

URL <http://www.fccsystem.co.jp>

E-mail [info@fccsystem.co.jp](mailto:info@fccsystem.co.jp)

FCCブログ

『施工員のとれたてブログ』より

## 共有スペース

百貨店のフードコートの施工です。

いわゆるデパ地下のフードコート。ハンバーガーショップやアイスクリームショップ、カレーショップなど様々な店舗が1つのフロアに集まっています。

お客様が飲食する場所は、特に各店舗ごとで仕切られている訳ではなく、全店舗の共有スペースになっています。

**ゴキブリの生息しやすい場所**といえば真っ先に**厨房**が挙げられます。まず、**エサ**となる**食材カス**がありますし、**水分**もあります。

しかし、厨房だけにとらわれ過ぎては、視野が狭くなり、肝心のゴキブリの巣を見逃してしまう恐れがあります。

このフードコートの共有スペースなどは**厨房以外のゴキブリの巣になりやすい場所**のひとつです。



厨房内と比べてドライな環境でエサとなる食材も極めて少ない状況です。しかしエサが集中する場所がありました。それがこの共用のゴミ箱です。(上部写真)

ゴミ箱の中は、ハンバーガーの**包み紙**や**ドリンク類のカップ**などが捨てられており、これだけでも**ゴキブリのエサ**としては**充分**です。

数はさほど多くはありませんが、ゴミ箱の脚の部分などにゴキブリの生息がありました。

この様にFCCでは広い視野で空間を捉え、**巣を確実に発見して巣にダイレクトに施工**致します。故に**完全駆除の確立**が格段に上がるのです。

## ノロウィルス食中毒対策

今年の夏の暑さは何処に行ったのか分からない程、すっかり涼しくなりました。

涼くなった事で、真夏に流行しやすいO-157などの食中毒のピークは過ぎましたが、これからの**秋から冬にかけて流行に注意**しなければならないのが**ノロウィルス食中毒**です。

今回は、ノロウィルス食中毒の発生原因とその症状、予防対策についてご紹介させて頂きたいと思っております。

ノロウィルス食中毒の感染経路はこれまでは**牡蠣**や**アサリ**、**シジミ**などの**二枚貝**によるものが最も多いとされてきました。

その理由としては、**牡蠣を生食する機会が冬場**が多い事、そして**比較的高い確率で牡蠣からウィルスが検出された事**が挙げられます。

しかし近年、牡蠣などの二枚貝が直接原因となる割合は減少傾向にあり、**ノロウィルスに汚染された調理器具を、洗浄を行わずに使ってしまうこと**により他の食材が二次感染して原因食材となったり、**感染者の糞便や嘔吐物に接触**、もしくはそれらが**乾燥し塵埃となったものが口に入る**ケースなど、何が原因でノロウィルス食中毒が発生したのかが特定し難いケースが増えています。

ノロウィルス食中毒は嘔吐や下痢、発熱などが主な症状です。また、**突発的に発症する事が殆どで、就寝しようとしたら突然嘔吐感に襲われるというケースが多く報告**されています。

また、嘔吐感が収まった後は**激しい悪寒や発熱**という症状が出てきます。

これらの症状は約2日間で治癒し、後遺症が残る事は殆どありませんが、**免疫力が低下した高齢者や乳幼児**がノロウィルス食中毒に感染・発症してしまうと長引く事があります。

ノロウィルス食中毒の感染や発症を予防する為には、原因が汚染された食物だという事を考慮すると、飲食物を扱う人が十分に**注意し予防対策**を行う事が重要です。

予防対策は以下の3つになります。

### ①十分な手洗い

調理に携わる人は十分に手洗いをし、調理器具を常に清潔に保つ事が重要です。

ノロウィルスは消毒用エタノールなどの消毒液には**抵抗力**がありますが、**手洗いで物理的に洗い流す事が出来ます**。従って、丁寧にしっかりと手洗いをすることが感染予防に繋がります。

### ②食品は十分に加熱する

ノロウィルスは**85度以上で1分間加熱**をする**と感染力を失う特徴**がありますので**極力生食は避け、中心部が85度以上になるように加熱**しましょう。また、生の貝類等を取り扱った調理器具は、他の食材を調理する前に**洗浄と漂白(消毒)**を行いましょう。

### ③感染しやすい箇所の消毒

ノロウィルスは**トイレやドアノブ、蛇口、手すり**などに付着している事が多く、**二次感染の感染経路になるケース**が多くあります。二次感染を予防する為には、これらの箇所の汚れを良く落とし、**消毒**する事がポイントになります。

これからの季節、ノロウィルス食中毒が発生しやすくなります。しっかりと予防する為にも、これらの対策を是非とも実践してみてください。



【住居の悪ムシとの付き合い方】

住居の虫と云えば、直に「ゴキブリ」を思い起す人がすくなくない。また、最近話題の虫、「トコジラミ(南京虫)」だろうと云う人も居る。

このいずれも、住居に居付いていることは確かだが、住居・家そのものを加害することは無く、住居の「悪ムシ」と決め付けるには若干、無理がある。では、どんな虫が、住居の悪ムシかと云うと、それは「シロアリ」なのである。このシロアリは、ゴキブリに近い虫であるが、あまり人目につかない「ムシ」である。

一般の人が気付くのは、5月から8月頃に、夜間、燈火に飛来する「羽アリ」を目にし、これが「シロアリ」だと知る。

シロアリの特徴：シロアリは、虫の仲間では、等翅目という虫の一群で、他の虫と異なる所は、「社会生活」を営むことである。

それは、女王、王、副女王、副王、職アリ、兵アリと云う階級があつて、それぞれの役割を果す分業集団である。

王と称する階級は、専ら生殖にたずさわり他のことはしない。職アリは、餌の採取と巣作り、それに王や幼虫、兵アリに餌を供給する役目を持っている。

兵アリは、専らこの集団社会(コロニー)の外敵からの防衛を任務としている。

そのコロニーには、一匹ずつの女王と王を中心とし、20万から30万匹から出来ている。

それは、数10匹の副女王と副王、それに兵アリが全体の5%前後、職アリが95%を占めると云う構成である。

シロアリは、このように組織と云う単位で生活行動をとる厄介な虫なのである。ここが、他の虫とひと味、違うところである。

シロアリの生活史：シロアリは、ゴキブリと同様に不完全変態である。

。卵期間は、26から90日で幼虫体となり、幼虫が3歳を過ぎる頃、職アリと兵アリの分代が生ずる。

これらが、成長を完了するまでには、1から2年を要する。この成長の過程は、人の目にふれることが無い。

人の目にふれるのは、有翅目(羽アリ)になって群飛する時である。有翅目は、巣から飛び立ち、地上に降りて翅を落とし、雄(♂)と雌(♀)の一对が交尾し、新しい巣づくりが始まる。

この最初の産卵は、30個前後であるが、回を重ねる度に多くなる。女王は、年を重ねるに従い、卵巣が発達し、一生に1000万粒を越す産卵をする。

シロアリの巣は、加害物より離れた場所に造るが、職アリや兵アリは土砂や排泄物で蟻道を作り、これを利用して活動をする。

このシロアリの被害：シロアリの被害は、住居の悪ムシとして恐れられるのは、元来、雑食性であるが、好んで木材を喰害するからである。

主として、木材の成分であるセルロース、ヘミセルロースを食物としている。しかし、面白いことには、シロアリ自身でこれを分解し、栄養とするのではなく、消化管内に共生する原虫がこれを分解し、シロアリの栄養にかえてやっていることだ。

また、木材の中でも「マツ」材を好んで喰害するようだ。それに、心材よりもリグニンの含量のすくない辺材を好むようだ。

なお、加害範囲は、生きた樹木、農作物、紙類、皮革、スチロール、電線などと広範囲である。かつては、殺蟻剤による化学的防除法で対応したが、今日では、予防処置が重要視されている。今、その害は増えている。

その予防のためには、「モニタハング」が大切であるが、「蟻道」を発見することが、付き合いかたの第一歩である。



【写真説明】イエシロアリの蟻道。家屋の床下に構築され、この中を通路として喰害活動を続けている。

FCCブログ — FCCの代表、深澤正司の『湘南ではたらく小さな会社の社長blog』より

掃除

先日の話し。「フカサワさんは会社で掃除しないんですね、いいですね。」って言われた。その方が言った意味については詮索しない事にします(笑)。

たぶん先日のブログの記事の影響かと思われませう。でも実は会社でも掃除しています。ある方の影響で、人数がいるにも拘らず社長が自ら掃除するな、と。もっとやる事があるだろ、と。

だから全員が集まる月曜日や水曜日の掃除には私は参加しないのです。でも他の日は内勤者だけです。当然私も掃除に参加します。会社はピカピカにしなければなりません。

会社がピカピカでなければ仕事内容もピカピカにならないし、社員もピカピカに輝きません。あんまり言うのもどうかと思いますが、でも言います。本当は言いたいのです(笑)。

例えば今日みたく会社に一人の時は、必ず一人で掃除をします。社員がいる時は15分で終わりますが、一人だと45分くらいかかります。でもなぜか私一人で掃除したほうが綺麗な感じがする。

床を掃きます。玄関を掃きます。汚れている箇所だけ下駄箱を拭きます。トイレです。ピカピカです。デスクです。そしてお水の水を換えます。そして絶対みんながやっていない所を掃除します。

それはパソコン。だれもキーボードを拭いていません。全部のパソコンが稼動していない時に私が拭き掃除しています。あと電話です。受話器が垢ですごく汚れています。全部拭きます。

それと受話器のコードがネジネジです。中尾彬現象です。あれより酷い。だれも直しません。だからそれを私がすべて解いています。そしてトイレや給湯室のドアノブ。汚い!!

なぜ手洗いが風邪や菌の予防になるか知ってますか?咳やくしゃみをするでしょ。そうすっと手で口を押さえるでしょ。その手でドアノブに触れるでしょ。だからドアノブからうつるんです。

こんだけ聞くと小姑みたいです。でもいいんです。やってること言いたくてしょうがないんです。こんなにやってるぞって。良いことは人知れずやる。でも言いたくてたまらない(笑)

パソコンからFCCブログをチェック!

FCCニュースに掲載しているブログの記事以外にもFCCホームページには多くのブログがあり、業務の事や日常の出来事など様々なエントリーが投稿されています。

気になった方は

FCC ゴキブリ駆除

トップページから全てのブログにアクセスする事が出来ます。

FCCブログ 『サービスマンブログ』より

年間対応

弊社は年間害虫、害獣を管理させていただいております。

新規施工後、確実に害虫、害獣は完全に駆除できます。しかし、年間での管理になりますとその場だけなくさせているようでは話しになりません。

害虫、害獣はいつ、どこから入ってくるか解りません。言うならばいつ入ってきてもおかしくないのです。

こんな時、お客様はご不安になられる方も多いのではないのでしょうか。

どんなに小さなご不安も解消いたします。

迅速に点検に伺います。そして対処いたします。

我々スタッフ一同、お客様を第一に考え行動し信頼を築いていきたいと思っております。

